京都の玄関口を、ジャックする

2026年10月、京都駅が新たなメディアの力で生まれ変わります。
近鉄京都駅改札内外に新登場する「迎都ビジョン京都(※1)」は、
計24面で構成される大型LEDビジョンです。
JR東海京都駅新幹線中央口の正面、京都のメインストリートに位置します。

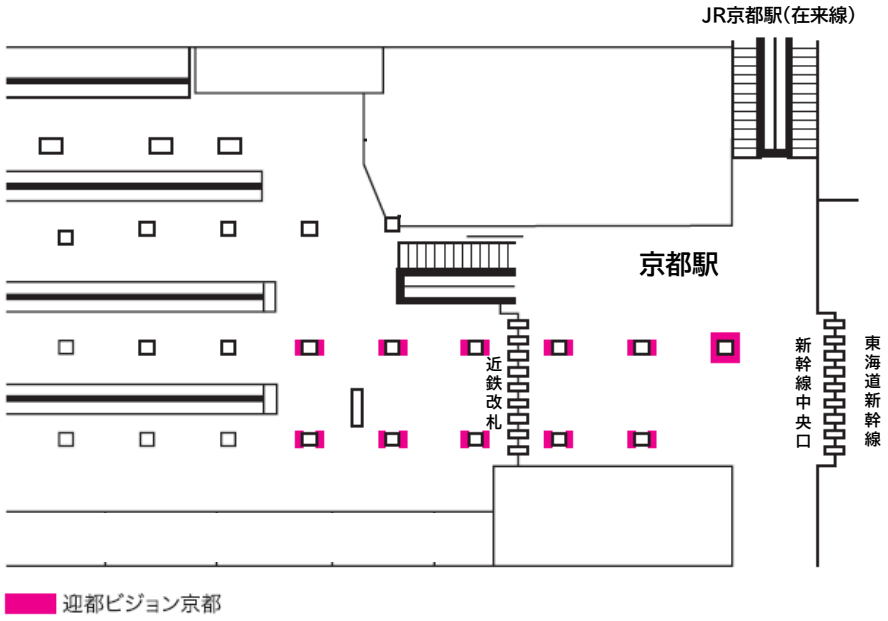


※イメージ図

※1:「迎都ビジョン京都」は京の都の玄関口でお迎えするという意味を込めています。

京都駅のメインストリートで
20万人と接触

「迎都ビジョン京都」は、JR東海京都駅新幹線中央口の正面、
かつ観光客、ビジネス客、地元の人々が行き交う自由通路に隣接しています。
延べ接触者数20万人/日(※2)により、関西地区で有数の広告展開が行えます。



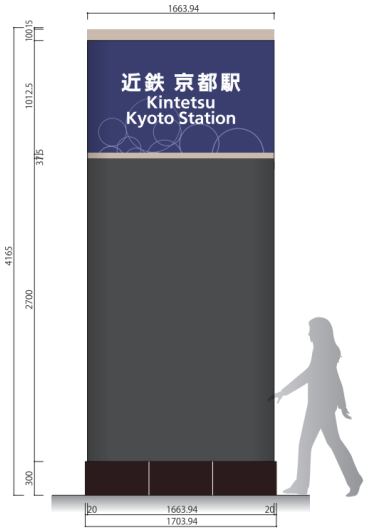
※2:延べ接触人数(推計) 平日:約214,000人、休日:約229,000人 (目視カウント調査を基に複数のデータから推計:アド近鉄調べ)

24の大柱(ビッグピラー)が、クリエイティビティを解き放つ

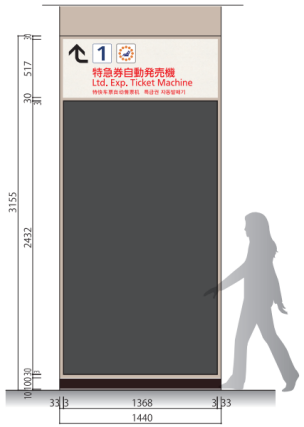
最大の特徴は、24面(※3)が生むクリエイティブの無限の可能性と
単なる放映にとどまらない、音声も連動する(※4)「圧倒的な没入感」です。
1社買切では、24面の大画面を個別に制御することも可能。

空間全体を**ブランドの世界観で塗り替え**ることができます。

駅という「通過点」を、ブランドとの「出会いの場」へ。
古都・京都の表舞台で、あなたのメッセージを届けませんか。



角R柱:1本(4面)



標準柱:10本(1本あたり2面 / 計20面)

※3:「迎都ビジョン京都」は角Rの柱が1本(4面)と、その他の柱が10本(20面)で構成されています。 ※4:音声の可聴範囲は、改札外の指定範囲のみとなります。

迎都ビジョン京都 商品概要

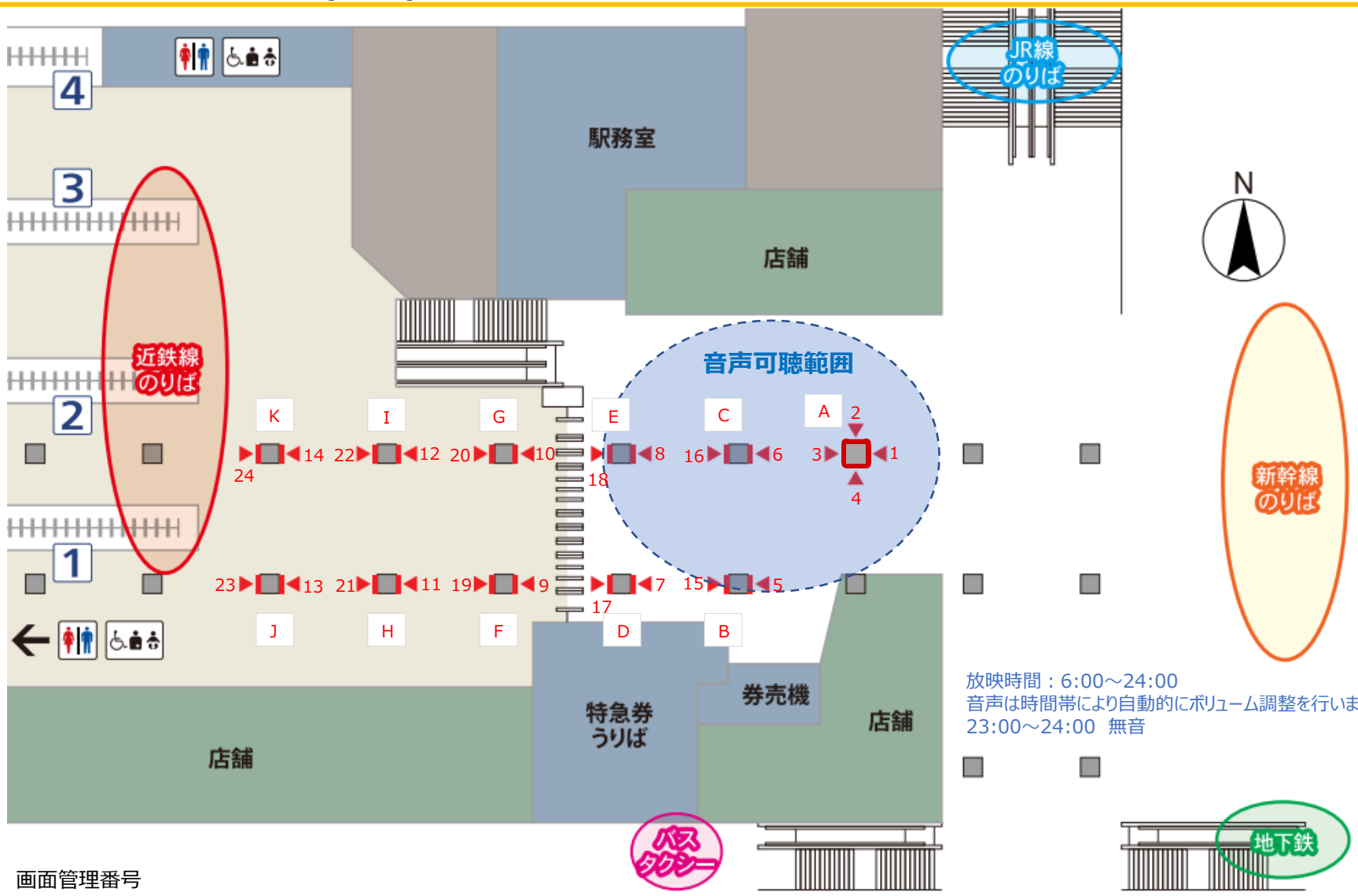


延べ接触人数(推計)
平日：約214,000人
休日：約229,000人
※目視カウント調査を基に複数のデータから推計 (アド近鉄調べ)

※画像はイメージです。

媒体名称 設置場所	区分	サイズ・面数	放映時間	設定枠	秒数	音声放映	放映期間	放映開始	広告料金(税別)	申込システム
迎都 ビジョン京都 近鉄京都駅 改札内外	1社 買切放映	H2,700㎜×W1,500㎜/1面 ×4面(1柱)	6:00～24:00 4分ロール	1枠	210秒	一部あり ※時間帯によって音量調整あり(23:00-24:00音声なし)	7日	月	**5,000,000円**	2ヵ月前の第1営業日からロール販売開始 例：10/5～、10/12～、10/19～、10/26～スタート分は、8/3よりロール販売開始
	ロール放映	H2,432㎜×W1,368㎜/1面 ×20面(10柱) ※1社買切の場合、24面別放映可能(2026年度中、画面別特殊放映料無料)	※1ロールのうち、30秒は業務放映 ※11/9～、11/16～、11/23～は1ロールのうち、45秒は業務放映・特別放映	14枠	15秒				**400,000円**	

迎都ビジョン京都　画面配置図(24面)



放映時間：6:00～24:00
音声は時間帯により自動的にボリューム調整を行います。
23:00～24:00　無音

画面管理番号

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
東	1	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
北	2										
西	3	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
南	4										

※1～4は角Rの連続面です。
　連続の1面としても、4面での使用も可能です。